

令和二年度 学校自己評価シート（山口学院 霞ヶ関高等学校）

目指す学校像 (ミッション)	自由の意味を理解しながら、自ら行動し心身ともに成長できる教育環境を提供する。
本年度の 重点目標	1. 授業や学校行事の工夫と改善に努め、生徒が生き生きと取り組めるように心掛ける。(授業・行事の工夫と改善) 2. 挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣の育成に努める。(生活習慣の改善と定着) 3. 進路に対する考えを深めさせ、希望進路実現に向けた積極的な行動を促す。(進路指導の充実) 4. 校内環境を整える。環境が人間の成長に重要な事を理解させながら、物事を広く深い視野で洞察できる人格の育成に努める。十分なウイルス対策を講じる(校内環境の整備)

年度当初				最終評価(3月)			学校関係者評価	
番号	評価項目	現状	具体的方策	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策		
1	授業・行事の工夫と改善	生徒の興味や関心を高める授業の工夫については動画配信やライブ授業、アクティブラーニングの研究・実践を深め進めていきたい。行事については既存の行事の中でも、生徒が主体となり物事を企画・実行する意義や喜びを体感出来る割合を増やせたらと考える。	・教師の授業力向上に努める。そのうえで動画やライブ授業配信、アクティブラーニングの技術向上を図り生徒が前向きに学びと向き合える環境を整える。 ・行事に参加する事だけではなく、行事を作り上げていく意義や喜びを出来るだけ多くの生徒に体験させたい。	・学校アンケートなどで、授業に対する参加意欲が向上したかを確認する。・動画配信等の実数と満足度調査を行いたい。 ・学校行事への参加は楽しいものであるという実感を一人でも多くの生徒が得られたか。	4	コロナ禍による休校中、いち早く動画配信を行えた。アンケート結果では、配信動画の量・内容とも7割以上の生徒・保護者が適切であったと回答していた。 授業に関しては8割近くの生徒が基礎基本の定着を図る分かりやすい授業であると評価している。 行事については、コロナ禍のため全て中止となってしまった。	平常時でも動画を配信する準備を進めていきたい。動画配信については、授業と動画配信の良好なバランスを考えていきたい。 次年度はアクティブラーニング等を通じて、「分かる授業から自らの学びを誘発させる授業」への取り組みに努めたい。	コロナ禍の中でいち早く動画配信授業を実施した点は高く評価出来る。平時でも動画配信やオンライン授業の展開を望む声が保護者からも寄せられているそうです。しかし通信制といえども登校することによって、個々の生徒が成長出来る場としての学校づくりを忘れずにいて欲しい。
2	生活習慣の改善と定着	生活マナーに対する学校の指導への評価は高いが、生徒の登下校時の行動や基本的な生活習慣の向上に努めたい。生徒の心のケアも含め、指導には個人差やクラス差が無いように取り組みたい。	・生活指導や生徒の悩み相談に対して、教師が統一した細やかな対応をとれるように心がける。 ・ホームルームをはじめ、様々な場面で倫理観の更なる向上に努め、生徒個々の自発的な変容を図る。 ・家庭と学校の連携を図る。	・個々の生徒および保護者が、学校生活を通じての生活習慣向上に満足しているか。 ・来校者および地域住民が本校生徒の生活態度に満足しているか。 ・教師と生徒の信頼関係がしっかりと出来ているか。	4	アンケートでは、本校入学後我が子の生活習慣が向上したと感じている保護者が約65%いた。(1年生保護者では特別コース90%、一般コース56%が改善したと回答)。生徒側への調査でも「公平な生徒指導を行っている」が81.4%、「生徒に寄り添った生活指導をしている」が78.8%と概ね良好であった。	現状では、本校の生徒指導や生活指導に対する満足度にコースごとの差が生じていることは否めない。登校回数の少ない一般コースの生徒の心にも響く指導方法の研究・実践に努めていきたい。また、不満に感じている層にも丁寧に向き合い、適切な対応を心がけていきたい。	生徒に寄り添った指導をしていると感じています。学校に行った際に生徒さんからの挨拶が少ないように感じました。それはこちら側(来校者側)にも原因が有るのかも知れません。挨拶をはじめとする生活習慣の改善は、保護者の協力が大切。次年度は保護者も巻き込んだ指導体制の強化を期待します。
3	進路指導の充実	生徒個々の進路に対する夢実現100%を目標にしているところではあるが、結果にはかなりの個人差がある。進路活動には生徒個々の意識づけが不可欠なので、進路指導部だけでなく、HRや授業さらには保護者の協力など学校全体で進路に向かう意識を更に高めていく必要がある。	希望進路が多様な本校であるからこそ、一人一人にあったきめ細やかな進路相談と進路指導の実践を更に充実させたい。そのためにも、スタディサプリやオリジナル補講などのあり方や工夫についての研究・実践や進路情報の収集・分析をより積極的におこないたい。	・希望進路が実現出来た者が増えたか。 ・学年段階に応じた進路活動に生徒・保護者が満足しているか。 ・スタディサプリ利用者が、年度を通じて利用し続けることが出来たか。学習効果を実感しているか。	3	きめ細やかな進路指導について、特別コースの生徒は概ね75%が評価しているのに対して、一般コースのそれは57%にとどまった。この数値は補講・補習の満足度でも見られた。生徒指導同様、登校回数の少ない一般コース生徒への指導方法と指導態勢との改善が急務である。	授業の時間割等本校コースの性質上から、進路行事は特別コース生徒の登校する日の放課後に全コース生徒を対象に実施している。進路行事日程等について、一般コース生徒へのアナウンスが弱い等を反省し、スタディサプリの活用方法も含めたより丁寧なアナウンスに心掛けていきたい。	コロナ禍で在宅時間が増えた筈なのに自主学習の時間が増えていない実態に懸念を感じています。その改善の一つの案として、スタディサプリの上手な活用を考えてみては如何でしょうか。生徒さんの進路活動にスタディサプリが有効となるのならば、全員加入も考えてみては如何でしょう。現状では中途半端観が否めません。
4	校内環境の整備	前年度のアンケートでは9割近い生徒・保護者が校内環境やその整備状況に満足している。活字や美しいものに囲まれ生活する事が感性や想像力を育むと理解している生徒が増えていることは、本校として誇らしいことである。学校評価アンケートで本校に入学して良かったと回答した生徒が約8割、保護者に至っては9割近かった。	図書蔵書数を増やすことと衛生管理の充実が更なる課題と思われる。今後も落ち着いて生活出来る環境整備に努めたい。特に衛生管理については、アルコール消毒液の昇降口設置や清掃の徹底等に努めたい。	・生徒や保護者が、本校の環境整備に理解を示し満足しているか。 ・図書室の蔵書数が計画的に増えているか。利用者が増えているか。本校から新型コロナウイルス感染者がでなかったか。などを評価指標としたい。	4	生徒・保護者共に「校内環境がとても良い」との回答を寄せた者が5割を上まわった。(どちらかと言えば良いも含めると共に8割を超えた) 活字に親しむ環境づくりにも約8割から評価を得た。蔵書数も計画的に増え、専門書の貸出数も伸びている。	「知の種をまく図書室」と「知を教養に、教養を実りにする学舎」を目標に次年度以降も積極的な図書館運営と教育環境作りに努めて行く。生徒のより深い教養獲得と情操教育に取り組んで行く通信制高等学校としての本校の特色を、今後も守り育て続けたい。	綺麗で明るい校内。図書の充実も素晴らしいと思います。せっかく充実した図書環境なので、貸出件数がアップする更なる工夫をお願いします。尚、3階トイレの個室は改善の余地有りと感じます。1, 2階同様に生徒が自慢できる環境になる事を期待します。